

社会基盤デザインコースの学習・教育目標とJABEE基準との対応

社会基盤デザインコースの学習・教育目標		JABEE基準1(2)との対応								
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
1. 使命・責任感と倫理観を持っている (技術者倫理)	(1) 技術者が人間社会の発展と自然環境の保全に果たすべき役割と責任を理解している。	○	◎							
	(2) 技術が社会や自然におよぼす影響や効果を理解している。	○	◎							
	(3) 技術者が持つべき人命尊重や環境配慮の倫理観を有している。		◎							
2. 自主的な学習意欲や学習能力がある (自主学習能力)	(1) セミナー、実験・演習を通じて自主的な学習方法の基本を身につけている。							◎		
	(2) 与えられた課題について適切な学習計画を立て、遂行できる。							◎	○	○
	(3) 学習を支援する機関やツールの効用と活用方法について、理解している。							◎		
3. 建設技術に関連する基礎学問、技術および科学の適正な知識を有し、実務問題に正しく適用できる (専門知識)	(1) 工学基礎科学として、微積分と代数学を中心とする数学、力学を主とする物理学、科学基礎および情報技術を習得している。			◎						
	(2) 建設工学の専門基礎科目（構造力学、土質力学、水理学、計画学、材料学、環境学、測量学）について、基本的理論と基本的な演習課題を解ける知識を習得している。				◎					
	(3) 建設工学の専門応用科目（構造解析、地盤力学、基礎工法、鉄筋コンクリート工学、建築構造の分野、または、水工学、水環境工学、生態学、都市・交通計画、景観工学の分野）について、基礎理論および応用課題の演習を通じて実務に応用可能な知識を有する。				◎					
	(4) 建造物設計・維持管理の分野もしくは環境・都市・地域の保全管理の分野について、実験・実習・卒業研究を通じて実務問題の理解と課題演習が解ける知識と応用力を有する。				◎	○	○	○	○	
	(5) 建設業務の計画と実施・マネジメントに関わる実務について知識を習得している。				◎	○			○	
4. 一定の時間と制約のもとで与えられた作業を計画、実施することができる (問題解決能力)	(1) 問題を調査、分析、整理するための方法論に関する基礎的知識を有している。					◎				○
	(2) 解決策を立案する能力を身につけ、具現化シナリオを作成することができる。					◎			○	○
	(3) プロジェクト・チームにおいて自らの役割を理解できるとともに、チームを運営し成果をつくる作業について、体験・実践を通じた認識がある。								◎	◎
5. 技術的課題について口頭ならびに文書で効果的に説明・討議できる (説明責任)	(1) 効果的なプレゼンテーションに関する基本的な知識と日本語表現力を有するとともに、実践の経験がある。						◎			○
	(2) 適正な文章で論理的構成をもったレポートを作成することができる。						◎			
	(3) 英語で記述された基礎的な文章を読解できる、英語で簡単な意見交換ができる。							◎		
6. 技術の歴史と現状を認識し、諸問題の解決に向けた地球観点を有している (文化・歴史観)	(1) 人類のさまざまな文化・社会と自然に関する知識を有している。	◎								
	(2) 技術の発展に関する歴史の知識を基礎として、多面的に技術の現状を理解している。	◎	○							

※ ◎：主体的に対応している項目、○付随的に対応している項目

JABEE基準1(2)
(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
(c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 分野別要件：土木工学の主要分野（土木材料・施工・建設マネジメント／構造工学・地震工学・維持管理工学／地盤工学／水工学／土木計画学・交通工学／土木環境システム）のうち、3分野以上を含む知識
(e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
(g) 自主的、継続的に学習する能力
(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
(I) チームで仕事をするための能力